

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校児童健全育成				所管	教育委員会 指導課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						
	根拠法令等	その他		[法令等名]	案件ごとに起案			
	事業対象	区内小学校						
	事業目的	児童の健全育成を推進し、問題行動等の早期解決を目指す。						
	事業内容	研修会開催 年3回 生活指導主任会の開催(8月以外毎月開催) 小学校の児童にいじめ電話相談カードの配布						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	定例会・研修会開催数 (回)		14	14	14	14	
	成果指標	定例会・研修会参加者数 (人)		250	475	475	240	
	決算額 (単位：千円)				(249)	(243)	97	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			(270)	(250)	170	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			(250)	(243)	98	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			(520)	(493)	268	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			(520)	(493)	268			
前年度から改善した事項		昨年度より引き続き適正な事業の実施に努めた。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	いじめ・不登校・自殺防止等の問題行動への対応は最重要であり、必要不可欠である。					
	効率性	3	演習で具体的な事例を使用する等、研修内容の精査を行なった。					
	手段の適切性	3	研修会等を通じて教員の指導力や意識啓発を図り、児童の健全育成につなげている。					
	目的達成度	3	定例会・研修会参加者数をより増加させる必要がある。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
いじめ・不登校・自殺防止等の生命尊重の視点に立った事業であり、区民・保護者の関心も高い。引き続き事業を実施していく。						維持		